

Psoriasis Info Letter

2024
15
January



ソラトピ [Psoriasis Topic]

乾癬と女性ホルモン

本田 哲也 先生 浜松医科大学皮膚科学講座 教授

ソラウンド [Psoriasis Round-table Discussion]

乾癬治療における特殊部位病変のケア

多田 弥生 先生 帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授
江藤 隆史 先生 あたご皮フ科 副院長
齋藤 昌孝 先生 麻布台クリニック 院長
中川 秀己 先生 あたご皮フ科 院長

ソラビュー [Psoriasis Interview]

患者さんが自分らしく乾癬に向き合うために

小西 真綯 先生 巣鴨千石皮ふ科 院長

ソラレポ [Psoriasis Report]

中等症～重症乾癬における併存疾患への影響を考慮した生物学的製剤および低分子化合物による治療

Jiang Y et al. BioDrugs. 37(1): 35-55, 2023.

編集委員

森田 明理 (名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科学 教授)
大槻 マミ太郎 (自治医科大学皮膚科学教室 教授)
多田 弥生 (帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授)

患者さんが 自分らしく乾癬に向き合うために



巢鴨千石皮膚科 院長
小西 真綯 先生

—乾癬分子標的薬使用承認施設(以下、承認施設)を申請したきっかけは何でしょうか？

これまでアトピー性皮膚炎治療に難渋していた患者さんに生物学的製剤を使用できるようになり、その効果に大変喜ばれた経験がきっかけの一つに挙げられます。それと同様に、乾癬においても最新治療を提供することで、治療選択肢の幅が広がり、患者さんの治療満足度向上や通院負担の軽減にもつながるのではないかと考えました。

—承認施設認定の前後でどのような変化がありましたか？

承認施設に認定されて治療の選択肢が大幅に増えたため、すべての治療方法をより詳しく提示することができるようになりました。その結果、患者さん自身にも治療方法の選択に関わっていただく、という方針が変わってきたように思います。クリニックでは、治療を開始した患者さんが笑顔になっていくのを目の当たりにし、各スタッフのモチベーション向上にもつながったと感じています。また、光線療法や美容皮膚科診療を積極的に行っている皮膚科クリニックとの相互紹介を行うことで、各施設の得意分野を最大限生かすことができるようになり、診診連携の幅も広がりました。

—乾癬患者さんとのコミュニケーションで大切にされていることは何でしょうか？

患者さんの悩みは多岐にわたるため、つらいと感じていることや、どのような状態を目指したいかについて、まず伺うようにしています。お話を聞きながら患者さんの求める治療目標を共有したうえで、経済面を考慮しつつ無理なく継続できる治療法を選択いただくことがSDM(Shared Decision Making: 共有意思決定)の一つの形だと思います。

乾癬などの慢性疾患の場合、治療により少し改善すると自己判断で服薬や通院を中止する患者さんもいます。しか

し治療中止後の皮膚症状の再燃や関節炎による不可逆的な関節変形を起こす可能性もありますので、定期的な通院と治療継続のモチベーションアップも必要です。また、再診の際に皮疹の状態や関節痛の有無、患者さん自身の現状に対する思いや治療満足度などを確認し、柔軟に治療アプローチすることを心がけています。治療目標の共有や再設定ができ、患者さんが納得して治療法を選択することがSDMの重要な意義と考えており、治療モチベーションの向上や治療継続にもつながっているように思います。

—忙しい日常診療でSDMを実施するために工夫していることはありますか？

多くの患者さんと緊密なコミュニケーションを取る体制を整えるために、院内の業務分担を確立させました。医療費助成制度の説明などは事務スタッフ、治療歴や希望・お悩みなどの事前聞き取り、在宅自己注射の指導は看護師、診察や具体的な治療方法の説明などは医師がそれぞれ責任をもって担っています。

また、受診前にできるだけ患者さんの不安を軽減するため、疾患や最新の治療法、医療費助成制度などの情報を掲載したWEBサイトの充実を図りました。また、いつでもメールでの相談が可能なお問い合わせフォームを設置することで、対面受診される際にはある程度治療方針についての共通認識ができ、診療効率も向上しました。

乾癬を含む慢性疾患の診療において、特にSDMを実施するメリットは大きいと考えています。そのためSDMをサポートするのに有用な、症状やQOLを患者さんが自己評価できる簡便なツールなどがあれば、継続的なコミュニケーションのためにぜひ活用したいです。

Point

- 承認施設に認定されたことで治療の選択肢や他院との連携の幅が広がり、乾癬患者さんの満足度およびスタッフのモチベーション向上にもつながる
- SDMの実践によって最適な治療選択ができ、患者さんが納得して治療を開始・継続できる